

# 静的量的視野検査-Humphrey Field Analyser(ハンフリー視野計)HFA II

器械の説明書より

目的

客観的視野異常の判定、被検者の光感度の経時的変化の定量や解析

## 準備物ハンフリーアナライザー・プリンター用紙

別紙参照

パターン	検査点	摘要
中心 40 点	30° 内 40 点	一般のスクリーニング
中心 76 点	30° 内 76 点	一般・緑内障・視神経疾患
中心 80 点	30° 内 80 点	一般・緑内障・視神経疾患
アーマリー中心	30° 内 84 点	緑内障
周辺 60 点	30/60 内 84 点	一般・視神経疾患・緑内障
鼻側階段	50° 内 14 点	緑内障
アーマリー全視野	50° 内 98 点	緑内障
全視野 81 点	55° 内 81 点	一般・網膜疾患・視神経疾患・緑内障
全視野 120 点	55° 内 120 点	上記と同じ
全視野 246 点	55° 内 246 点	上記と同じ
全視野 135 点	85° 内 135 点	上記と同じ



## 検査の準備

プリンターと本体(コンセントの横)にある

電源を入れ立ち上げる時のみ操作は暗室で行うのが原則。明るいと輝度調整ができないので「部屋を暗くして下さい」と画面上に出る。あまり明るすぎると電源が切れる場合があるので注意。もちろん検査中はドームの明るさのみにすること。

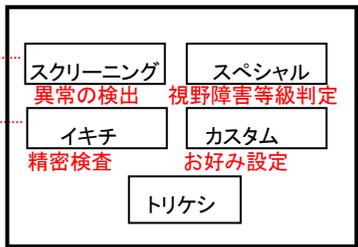
その病院の機種の説明書をよく読むこと。

現在使用中の機能表示  
機種により、メインメニューでスクリーニングと閾値が出てきて、閾値のみにするとSITAが出ない。

- メインメニュー
- 使用中の機能で不明点が生じた場合、その機能における操作方法、注意事項の表示。
- 患者のデータを追加。
- 患者のファイル管理。
- 検査結果のプリントアウト。
- システムの条件設定の変更。

## 共通操作手順 (閾値テスト スクリーニングテスト)

直接触れて、が出てきたら、目的の項目まで誘導し、選択する。



1. **メインメニュー**

スクリーニング (異常の検出)

スペシャル (視野障害等級判定)

イキチ (精密検査)

カスタム (お好み設定)

トリケン

2. **メインメニュー**

検査眼を選択して下さい

右

左

取消

3. **患者データ 1**

患者名

生年月日

球面 乱視 軸度 右

試用レンズ

右眼のコメント

左眼のコメント

患者データの追加入力

実行

4. **患者データ 1**

患者名を入力して下さい。

アイウエオマミムメモ

カキクケコラリルレロ

サシスセソヤユヨワン

タチツテトアイウエオ

ナニヌネノヤユヨツ

ハヒフヘホ

バックスペース

スペース

入力

5. **患者データ 1**

IDナンバー

患者名

生年月日

球面 乱視 軸度 右

試用レンズ

右眼のコメント

左眼のコメント

患者データの追加入力

実行

6. **患者データ 1**

生年月日を入力して下さい

年・月・日

1 2 3

4 5 6

7 8 9

0

バック

入力

7. **患者データ 1**

生年月日を入力して下さい

年・月・日

1 2 3

4 5 6

7 8 9

0

バック

入力

視標の間隔は 6°、以前の 30-1 は 3°

パターン	検査点	摘要
黄斑部	5° 内 16 点	黄斑部疾患・進行した緑内障
中心 10-2	10° 内 68 点	黄斑部疾患・網膜視神経疾患・進行した緑内障
中心 24-2	24° 内 54 点	緑内障・一般・視神経疾患
中心 24+	24° 内 63 点	緑内障・一般・視神経疾患
中心 30-2	30° 内 76 点	緑内障・網膜視神経疾患・一般
周辺 60-4	30~60° 内 60 点	網膜疾患・緑内障
鼻側階段	50° 内 14 点	緑内障

選択し、画面上のキーボードから数字を入力する。

入力の中止 (Cancel)

ナンバーの消去 (Clear)

1文字消去 (Backspace)

入力 (Enter) を押す

又は 前へ戻る

- ①押し、**自動計算**(Calculate trial lens)を選択する。
- ②矯正度数を入力する。  
自動計算を押し、矯正レンズホルダーを持ち上げて挿入する。  
(C-0.25D 以下は必要なし。1.25D までは等価球面で、1.5D 以上はそのまま。  
と書いてあるが、GPと同じでも良いと思う。  
被検者側からの軸に注意!!)
- ③他眼へ

選択し、必要ならば**コメント**を入力する。

同一患者の2回目以上の検査の場合、**(Recall Patient Data)**を押し、呼び戻すドライブを選択し、**実行(Proceed)**を押すと入力の手間が省ける。  
患者のファイルを検索して、該当するファイルに触れて左側に☑がついたら**(Proceed)**を押す。

追加入力があれば、**(More Patient Data)**を、検査画面にそのまま進む場合は**(Proceed)**を押す。



**2枚を貼り合わせて、指示線をつなげてね!**

7

**診断・検査コード** 日本においては不要。

**瞳孔径** 数値のキーパッドから入力し、**(Enter)**を押す。(0 mm~14.5 mmまで)  
自動的に測定される場合もあり。

**視力** 数値のキーパッドから入力し、**(Enter)**を押す。

**眼圧** 数値のキーパッドから入力し、**(Enter)**を押す。(0~75 mm Hg まで)

①**水平 Cup/Disk 比** 数値のキーパッドから入力し、**(Enter)**を押す。(0.00~0.99 まで)  
②**垂直 Cup/Disk 比**を選択して同様にを入力する。

他眼も入力する

**患者データ-1へ戻る**又はそのまま**(Proceed)**を押して検査画面へ

## 患者の準備

### 患者への説明

- ①中心の固視灯を指差し(直接触れない)、検査中はこの黄色の光を見続けて、周りに明るい光や暗い光が1つ見えたら応答ボタンを押して下さい。(応答ボタンを渡す)
- ②途中休みたい場合は応答ボタンを押したままにし、再度ボタンを離すと検査が続きます。もし、どうしても疲れて続けることができない場合、検者に言って下さい。休憩をとります。
- ③瞬きは普通に行って結構ですが、できればボタンを押すと同時に瞬きして下さい。

### 患者の片眼遮蔽

ゴム紐が被検眼の視野を塞がないよう眉の上方にしっかり留める。

必要であれば被検眼の眼瞼をテープで普通に瞬きができるように軽く挙げる。

### 椅子とテーブルの高さの調整

楽な姿勢で検査できるよう椅子の高さを調整する。

### 検査眼の調整

- ①顎台に顎を乗せ、患者が前屈みにならないように再度調整する。
- ②矯正レンズを瞳に触れない程度まで(説明書では出来る限り近く)ホルダーを動かす。
- ③アイモニターの中心(+ )に瞳孔が来るように調整する

